

2/21
県民福井

県選挙管理委員会などは二十日、福井市天池町の仁愛女子短大付属幼稚園で選挙出前塾を開いた。年長園児六十人が保護者と一緒に模擬投票を体験し、選挙の仕組みや重要性を学んだ。

「本物選挙行きたいな」



立候補したネコ、ウサギ、リスの着ぐるみが登場し、「道を広くするよ」などとそれぞれ

模範選挙で投票を体験する園児たち。福井市の仁愛女子短大付属幼稚園で

福井の園児 出前塾で仕組み学ぶ

れの「公約」を発表。園児らは投票用紙が配られると、気に入った動物に丸を付けて本物の投票箱に入れ、メンバーによる開票作業を見守った。

園児の投票ではリス、保護者ではネコが当選し、「選ぶ人によって結果は変わる。みんなで決めることが大事」とメンバーら。西村真亜子ちゃん(6)は「大人になったら、本物の選挙に行きたいな」と笑顔を見せていた。(平井一敏)

街路樹

○：福井市天池町の仁愛女子森の新しい村長を決める箱に入れた。吉田優月(6)は「健康のため」で20日、県明るスガが立候補する設定。大に菓を配るといふ(公約)選挙推進協議会による学生や若者でつくる明るの(リスも良かったけど)選挙出前塾が開かれた。い選挙推進青年活動隊(ぴかぴかの学校)にして園児と親らが紙芝居など「CEPT(セプト)」れるネコに入れた。選挙を通して選挙の仕組みをのメンバー5人が、年長って難しくないね」と話学んだ。園児60人とその保護者をしていた。



前に披露した。○：学校を新しくしたり、道を広げるなど各候補者の公約を聞いた後、園児たちは動物の顔が載った投

2/21
福井新聞